

WEEKLY REPORT



題字：長野和夫

第63期最終例会

本日の例会プログラム

1. 開会点鐘
2. ソング「それでこそロータリー」
3. ゲスト、ビジターの紹介
4. ホームクラブ出席優秀者表彰・会報原稿御礼
5. 出席報告、ニコボックス発表、委員会報告、幹事報告
6. 活動報告・退任挨拶
会長・副会長・会場監督・ガバナー補佐・幹事
7. 会長・幹事バッジ引継ぎ
8. 閉会点鐘

ホームクラブ出席優秀者

皆出席者

吉村敏博君、齊藤 隆君、鶴田 温君

1回欠席者

波多野一夫君、安藤正樹君、鈴木康之君



会報原稿御礼

原 眞平君、鈴木 力君、土屋大二郎君、木下雅則君

《本年度米山奨学寄付》 74名・・合計 74万円

《本年度ロータリー財団寄付》

クラブ寄付 (ポリオプラス)	1,121.42	ドル
100ドル寄付 (74名)	7,400.00	ドル
合計	8,521.42	ドル

以上63期の報告とさせていただきます。
皆様のご協力感謝いたします。

退任挨拶 長野和夫 会長



伝統ある中津川ロータリークラブの会長を拝命し、クラブテーマを「伝統と歴史、そして今ロータリーを楽しもう」としてスタートいたしました。土屋副会長・原会場監督・前野幹事をはじめ理事・委員長・会員の方々には言葉で言い表せない程お世話になりました。

前年の末にコロナウィルス感染症が発生し、第二波から年度末の第四波まで年間を通して収束することは無く、PETSから始まり地区大会・地区協議会さらには台湾での国際大会、ロータリー100周年の記念式典も全て中止となる1年でした。

ガバナー補佐輩出クラブということで、原満夫P会長・可児力P会長・田口義也P会長のご支援のもと、吉村敏博P会長に就任していただき、大変な重責を担っていただきまして心より感謝申し上げます。ホストクラブとしてのGTM開催は、特別委員会のご努力により、東濃8クラブから提供していただいた事業の報告書(奉仕活動事例報告書)を作成し、8クラブ会員全員に配布する事業に替えて終了することができました。

一堂に会することができない、そして親睦のための会食もできないコロナウィルス感染症は前例のない感染症であり、できる限り休会を避け、クラブ運営の柱である例会の開催に努めてまいりました。

例会の都度会場配置を変え、開催場所も変更する等、コロナ対策をしての会場設営をしていただきました親睦委員会の皆さんの苦労には大変感謝を申し上げます。また休むことなく充実した内容で会報を提供していただいた会報発行委員会、写真や記事を提供していただいた会員の皆さんには重ねて感謝申し上げます。

各委員会におかれましても、事業の延期・変更また変更そして最後に中止となるなど二重、三重の面倒をかけましたことお詫び申し上げます。

クラブ運営で大切な会員奉仕事業である、友好クラブ台湾三重クラブの来訪例会、家族例会やIDMの開催は残念ながら全て中止となってしまいました。残念でしかたありません。

各委員会におかれましては、事業や予算の練り直し等、たいへんな苦勞をかけました。

そんな中で、コロナ禍でできうる事業を模索し、特命委員会より提案していただいた中津川消防署に対する陽陰圧装置付搬送具の贈呈を行いました。また社会奉仕事業として、「中津川市の歴史と歴史上の著名な人物(江戸末期から明治維新の中津川)」という冊子を作成し、市内全中学生に対して贈呈する事業を行いました。

最後に、63期会長退任にあたりまして、コロナ禍の中例会に出席しロータリー活動、ロータリー事業を支えていただきました会員の皆様に感謝を申し上げ退任の挨拶とします。